

地域防災の^{かなめ}要である消防団の活動に 絶大な信頼を置いています。



白鷹町長
佐藤 誠七

現在、本町には588名の消防団員が在籍しております。消防団員とは、消防署に勤務する消防士とは異なり、本業を持ちながら活動する町民であり、今も昔も地域防災の要として、なくてはならない存在であります。

本町においても、毎年数件の火災が発生しておりますが、どれも大事には至らずに抑制できていることは消防団の皆さまの迅速かつ正確な対応によるものと思います。

また、全国に目を向けますと、過去に経験したことのないような自然災害が頻発しております。今年1月1日には、能登半島で最大震度7を観測する大規模な地震が発生しました。この

ように地震や豪雨などの自然災害が全国各地で甚大な被害をもたらしており、本町においてもそのリスクは年々高まりつつあります。

団員の皆さまにおかれましては、有事の際、本来の仕事に優先して現場にいち早く出動し、消火活動や避難の支援にあたっていたいただいております。生業を持ちながらの消防団活動は決して容易ではありませんが、地域に密着した活動への期待は高まっており、これからも地域防災の要として白鷹町の安心安全の支えとなるものであります。

引き続き、町民の生命・財産を守るために、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

消防団とは何か

Interviewインタビュー

佐藤 貴光 氏

平成4年に白鷹町消防団に入団。第3分団分団長、消防団副団長など数々の役職を歴任し、令和5年4月より消防団団長に就任。また、令和4年には、これまでの功績がたたえられ、藍綬褒章を受賞。



白鷹町消防団
団長 佐藤 貴光

使命感を持って地域のために活動する。 消防団はかけがえのない組織です。

近年、火災のみならず、頻発する自然災害の影響もあり、消防団の存在意義は年々高まっています。

消防団は、地域の特性を熟知しているため、発生した災害に迅速かつ正確、そして臨機応変に対応できる力があります。幹部および団員の方には、「有事の際の災害対策に万全を尽くすことが消防団に求められていることであり、責任ある行動を取るように」と伝えております。また、有事が発生した場合だけのことを考えるのではなく、いかに予防できるかを考え、対策するかということも大切に行っています。日々の火災予防活動や訓練を欠かさず行うことはもちろん、お祭りの警護や貯水槽の清掃など、

地域活動にも積極的に参加しております。

一方、近年の消防団を取り巻く環境は、少子高齢化や勤務形態の多様化などの社会情勢の変化により、団員数は年々減少傾向にあります。そのような状況下においても、「町の安心安全を守る」という思いを持ち、仕事と消防活動を両立しながら活動する団員たちは、この町の誇りです。

これからも「自らの地域は自らで守る」の精神に基づき、すべての消防団員が尽力していく所存です。町民の皆さまにおかれましては、引き続き消防団活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

消防団 の使命



消防団の

Mission 使命

家族、友人、そして町民すべて一。

大切な人を火災や近年頻発する自然災害から守るために、「消防団」という使命を担う人たちがいます。



災害対応

火災発生時の消火活動をはじめ、地震や風水害といった災害が発生した場合に、救助や避難誘導など、現場の第一線に立って災害防除を行います。



広報活動

定期的に消防車両で町内を巡回する夜警のほか、火災予防運動や特別警戒等に合わせた巡回広報活動を行い、常時火災予防の周知を行います。



各種訓練

災害等に迅速に対応するため、日々消火訓練と車両機器等の点検を行っています。また、年に2回（春季と秋季）大規模な合同演習も開催しています。

